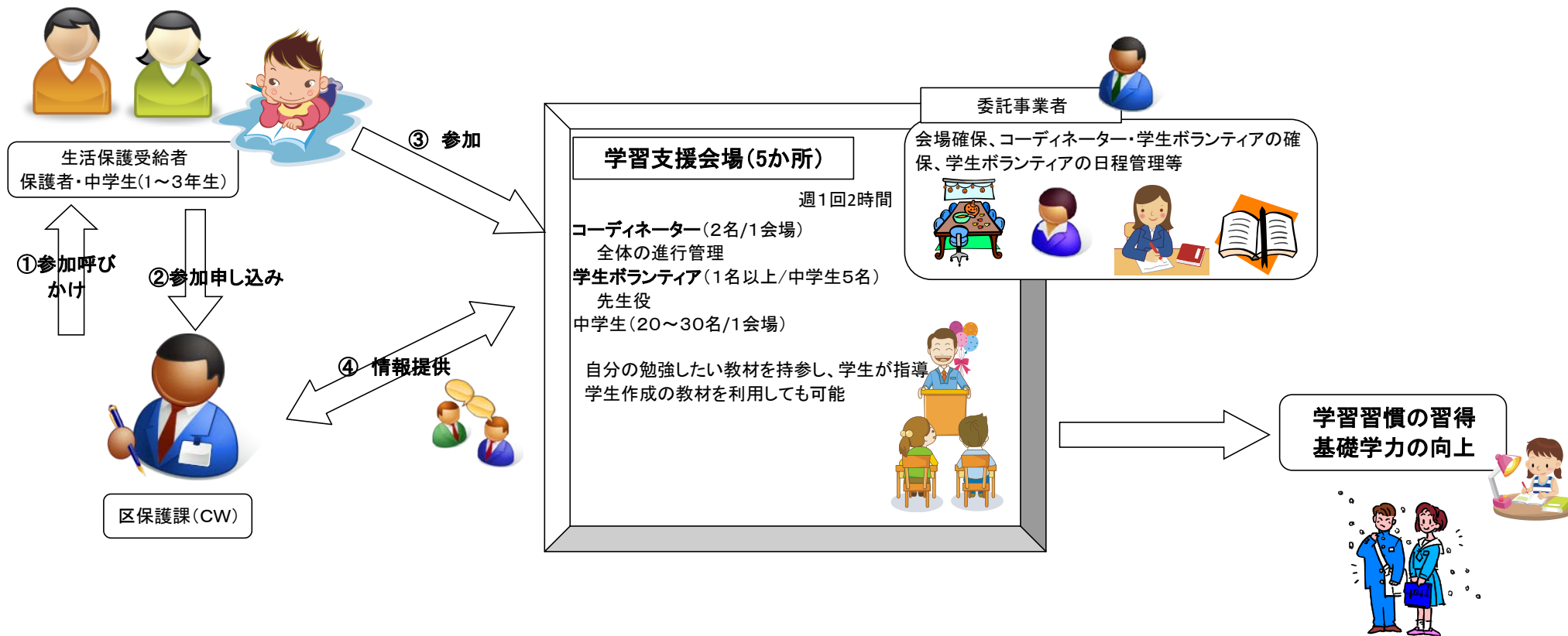


さっぽろ まなびのサポート事業 概要図

【委託事業者】 財団法人 札幌市青少年女性活動協会



さっぽろ まなびのサポート事業について

1 現状

●高校進学率(平成22年3月卒業者)

札幌市全体の高校進学率と比較すると、生活保護世帯の子どもの進学率は4.3%ほど低い

(札幌市全体99.0% 生活保護世帯 94.7%) ※平成22年度学校基本調査(文部科学省)及び厚生労働省社会・援護局保護課調べによる

全日制への進学率を比較すると約19%ほど低くなっている。

(札幌市全体92.7% 生活保護世帯74.2%)

●国の考え方

「社会的な居場所づくり支援事業の実施について」(平成23年3月31日 厚生労働省社会・援護局保護課長通知)

生活保護における貧困の連鎖を防ぐために、子どもの進学支援など、被保護世帯の子どもの健全育成を支援する事業の実施を求めるもの

●他自治体の取組状況

平成22年度においては、35自治体が事業を導入

例) 釧路市: 中学3年生を対象に、学習支援を行う。

相模原市: 中学3年生を対象に、NPO法人に委託して基礎学力定着と高校進学をサポートするための学習教室を開設。

新潟市: 中学生を対象に、県立大学に研究委託して学習教室を開設

2 取組の基本方向

●基礎学力の保障～高校進学に向けて

●子どもの居場所となるような位置づけ

ボランティアとの交流を通じて、コミュニケーション力を養い、自分の将来像を描く力をつける

●事業費については、セーフティネット補助金を活用(10/10補助)